

(別紙5)

整理番号 2022P-089
補助事業名 2022年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 神奈川県労働衛生福祉協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

蓄電池式バッテリー検診車の導入により排気ガス・騒音を出さない検診を整備し、肺がんや結核等の早期発見、早期治療を図ることを目的としています。

(2) 実施内容

蓄電池式バッテリー胸部X線デジタル検診車

[http://www.rfk.or.jp/information/JKA_HJ2022\(20230531\).pdf](http://www.rfk.or.jp/information/JKA_HJ2022(20230531).pdf)

外観



胸部撮影室内



(別紙5)

- ①蓄電池式バッテリーを搭載しているため、検診中に排気ガス・騒音が発生せず、環境保護に努めています。災害時のバックアップ電源としての活用も可能です。
- ②高画質FPDの搭載により質の高い読影診断を可能としています。

2 予想される事業実施効果

蓄電池式バッテリー検診車の導入により、環境に配慮した検診を実施することが可能となりました。最新の胸部デジタル検診車を製作したことで、胸部の疾病を早期に発見することが期待できます。また、8カ国語に対応した撮影案内システムの導入により、外国人受診者様や耳が聞こえづらい受診者様にも安心して健康診断を受診していただく事で精度の高い検診を行うことが可能となります。

3 補助事業に係る成果物

協会広報紙「第98号」



協会広報紙
http://www.rfk.or.jp/

発行日 令和5年6月28日 第98号
編集・発行人 (一財) 神奈川県労働衛生福祉協会 編集委員会
〒240-0003
横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9





令和4年度事業報告概要

令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年が経過し、現在もなお社会経済活動に多大な影響を与えています。この間、感染拡大防止のため「新しい生活様式」が定着し、基本的な感染防止対策やワクチン接種も世代を問わず身近なものとなり、感染法上の位置付けも指定感染症から5類感染症へ変更されることが決定しました。

協会は、このような状況のなか感染拡大防止に対応した各種対策を講じ「健康長寿」に向けて、がんの早期発見と予防、高品質の健診の提供に取り組みましたが、コロナ前の水準には至らず厳しい事業運営となりました。

健康診断事業の売り上げが減少する中、コロナ禍における健診体制の見直しや効率化、新規事業所の獲得を中心に受診者数の増加を図りましたが、テレワークの導入や受診控えに加え、原材料費、人件費の高騰に伴う影響もあり目標達成はなりませんでした。

作業環境測定は、騒音防止ガイドライン改定への対応、安全衛生法の新たな化学物質規制に即した特殊健康診断との連携を図ることで、事業場における管理体制の強化と職場環境の改善に取り組んでまいりましたが、スタッフの減少もあり、事業所実施件数は微減となりました。

健診機関として「健康長寿」をコンセプトに、重大な疾病の早期発見に加え予防に取組むべく新規オプション検査を導入し、人間ドックを受診された方には、健診結果とライフステージに応じた検査を追加提案する「受診勧奨サービス」「進化する個別化健診」を新たな取組みとして活用しています。

天王町診療所第2センターは、これまで大規模改修・修繕工事を行って参りましたが、香以外壁補修、塗装、防水工事が完了し建設時を彷彿とさせる外観となりました。

公益目的事業の「ジャパン・マンモグラフィ・センター(J・M・S)」は感染防止対策を徹底した上で実施、横浜みなとみらいウィーン・スクエアで3年ぶりの開催となった「健康チャレンジフェア」がなごわ2022、会場を保土ヶ谷公園に差し開かれた「ほごがや区民まつり」に参加しました。

「第14回労働衛生フォーラム」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を見送りました。

今後も総合健診機関として県民の健康保持推進のため、行政当局、関係学会、医師会、その他関係機関と連携して保健衛生の向上に邁進いたします。

精度管理調査評価結果

(公社)全国労働衛生団体連合会総合精度管理委員会は、厚生労働省の指導のもと平成元年度より優良な労働衛生機関を育成するため、日本医師会、中央労働災害防止協会の後援を得て総合精度管理事業を推進しています。

令和4年度の調査結果が公表され、労働衛生、臨床検査、胸部X線、胃部X線、腫瘍超音波の全ての分野において、前年度に続き「優」評価となりました。

健康診断の結果は、事業場における労働衛生管理を推進するうえでの基本情報であり、その信頼性を高めることが極めて重要です。

また、(一社)日本総合健康診断学会精度管理委員会による今年度第1回精度管理調査も胸部単純X線、心電図の項目において総合評価「良好」となりました。

全衛連総会 功績賞・奨励賞

(公社)全国労働衛生団体連合会では、健診機関において永年わたり労働衛生関係の業務に精励し、顕著な功績が認められ、他の模範となる者を表彰しています。

功績賞 システム運用部 部長代理 金丸 ルミ子



このような栄誉を頂戴する事が出来たのは、システム運用部の取り組みを認めていただき、一纏めに取り組んでくれた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

奨励賞 集田健診部 臨床検査科 主任 半戸 美紗



この度は全衛連奨励賞を頂くことが出来、誠に光栄に思います。

入職以来多くの先輩方に時に厳しく、時に温かくご指導頂いたおかげだと存じます。これからも感謝の気持ちを忘れずに、業務に取り組んで参りたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

JK A補助事業報告

競輪補助事業による胸部デジタル検診車(蓄電池)が納車されました。

2022年度の競輪補助事業(補助金額2,150万円)を受けて、2023年5月31日に胸部デジタル検診車(新25号車)が納車されました。

当協会初となる、蓄電池を搭載した検診車となります。電動発電機を使用しないため、検診中は排気ガスや騒音もない環境に優しい検診車となります。

県内市町村の住民検診や事業所の従業員の健康診断において、疾病の早期発見及び予防を図ることで、県民の保健衛生の向上に大いに寄与することが期待されます。




令和5年 評議員・役員体制

役員選任について
令和5年6月15日開催の定時評議員会において役員が選任され、続く臨時理事会において下記のとおり選定されました。
役員の内職は、令和7年定時評議員会終結の時までとなります。

<p>【評議員会】</p> <p>評議員 岡部 淳</p> <p>評議員 岩崎千代子</p> <p>評議員 奥山 利昭</p> <p>評議員 甲斐 純夫</p> <p>評議員 廣瀬 豊</p>	<p>【理事会】</p> <p>会 長 赤城 邦彦</p> <p>常務理事 仲沢 経夫</p> <p>常務理事 早川 俊一</p> <p>理事・事務局長 藤井 明徳</p> <p>理 事 磯山 惠一</p> <p>理 事 小森 謙彦</p> <p>理 事 空閑 一志</p> <p>監 事 横山 祐司</p> <p>監 事 前田 邦行</p>
---	--

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会
(カナガワケンロウドウエイセイフクシキョウカイ)

住 所： 〒240-0003
神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9

代 表 者： 会長 赤城邦彦 (アカギクニヒコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 藤井明德 (フジイアキノリ)

電 話 番 号： 045-335-6900

F A X： 045-335-7179

E - m a i l： fujia@rfk.or.jp

U R L： <http://www.rfk.or.jp/>